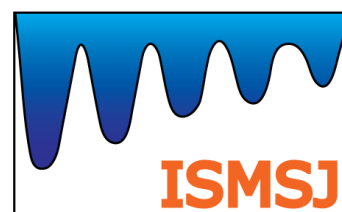


日本臨床睡眠医学会 Newsletter



No.3 2021 2021年6月20日発行

《目次》

1. 第12回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ) 学術集会のご案内
2. 睡眠医学若手奮戦記3
3. ISMSJ からのお知らせ～CEC 申請手続きについて～
4. 第12回日本臨床睡眠医学会学術集会チラシ

発行：一般社団法人日本臨床睡眠医学会
ニューズレター委員会

委員長：立花直子

委員：河合 真, 谷岡洸介

〒162-0825

東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2F

Tel : 03-5206-7431 Fax : 03-5206-7757

E-mail : ismsj@worldpl.jp

第12回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ) 学術集会のご案内

大阪回生病院睡眠医療センター

第12回日本臨床睡眠医学会学術集会組織委員長 谷口 充孝

第12回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ) 学術集会ですが、組織委員の先生方とともに鋭意準備中です。

もちろん、当日、現地で皆様方と会場でお会いできるのが最も良いのですが、新型コロナウイルス感染拡大により、困難なことも予測されますし、Web での学会は多くのプログラムを繰り返し聴講できるなどメリットも大きいことから、ハイブリッド形式で開催し学会終了後もプログラムの一部を聴講可能にしたいと考えています。

前回のニューズレターでも紹介させていただきましたが、ISMSJ 学術集会では海外のレジェンドの特別講演が欠かせませんが、菱川泰夫先生は日本の睡眠医学の誇るレ

ジェンドで、ご期待いただければと思います。その他にも最近のトピックスを含めた多数のプログラムを用意していますので、ご参加いただければ睡眠医学を堪能し、そして頭が忙しくなるはずですよ。

最後にお願ひです。会場での受付の混雑を避けるため、今回から開始する事前申し込みを是非お願ひします。1か月前の早期事前申し込みでは当日よりも2,000円安くなります。申し込み後の返金はできませんが、もし、当日、参加できなくてもWeb参加だけでも参加費に見合う価値があるはずですよ。それでは、ご参加を心よりお待ちしております。

第12回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ) 学術集会概要

会期：2021年10月22日 (金) ～23日 (土)

会場：なんばスカイオコンベンションホール (大阪府大阪市中央区難波5丁目1-60)

※ハイブリッド形式での開催となります。

テーマ：睡眠医学の多様な魅力

【プログラム (予定)】

組織委員長講演：睡眠診療のいま

谷口充孝 (大阪回生病院睡眠医療センター)

特別講演：私たちの睡眠研究

菱川泰夫 (秋田大学医学部精神科名誉教授, 日本睡眠学会元理事長)

シンポジウム1：多様な視点から“眠気”にアプローチする

シンポジウム2：OSA-beyond adeno-tonsillectomy (AT) and CPAP

シンポジウム3：やっぱり睡眠は面白い；不思議と向き合う基礎研究

その他、教育プログラムなど

一般演題は口演となります。プログラムの詳細は決定次第、ホームページ (<http://ismsj2020.umin.jp/>) で順次紹介させていただきます。

睡眠医学若手奮戦記3

～一般総合病院検査部で働く検査技師編～

奥谷 一真（関西電力病院臨床検査部）

こんにちは。私は2018年4月から関西電力病院で勤務している検査技師です。今回、睡眠医学に興味をもった経緯と現在取り組んでいることをお伝えすることで、睡眠検査に携わる検査技師が楽しく、やりがいを持って仕事ができるかもしれない…という想いを込めて、今回の睡眠医学若手奮戦記を担当させていただきます。

まず、私が PSG と初めて出会ったのは今から約13年前、初めて検査技師として働くことになった総合病院でした。担当の診療科は耳鼻咽喉科。SASが疑われた患者は耳鼻咽喉科に紹介され PSG を実施。PSG の流れは少し訓練された検査技師が、PSG のセンサを装着し、当日検体当直に当たってしまった技師が翌日センサを外す(夜間監視なしの無人 PSG)。検査後のデータは①自動解析のボタンをポチッと押す、②なぜか呼吸イベントだけ無呼吸 or 低呼吸に分類、③レポート出力というホップステップジャンプ形式(なぜそんなことをしていたのかは謎)でした。でもその時は、院内の人間全員が間違っていることをしていないと思ってました。なので、PSG=SAS の検査、AHI の数値が全てを支配する世界で育ってきました。そんな中、若手技師が発表の経験をするための臨床検査技師会が主催する研究会にて睡眠検査の内容で発表しなければならないという事態が生じました。どうやったら良いのか院内で睡眠検査に詳しい人間がいないため、悩みに悩んだ末、睡眠クリニックで働く学生時代の同級生に相談してみました。そのときに「えっ!?自動解析?あかんやろ。呼吸だけみる検査じゃないやん。」と言われたことが、PSG の見る目が変わる最初の出来事でした。そこから、脳波や下肢筋電図、装着しているセンサ全てをみることを意識するようになり、院外の勉強会や学会に参加し始めました。

初めて参加した勉強会は2011年12月に兵庫県臨床検

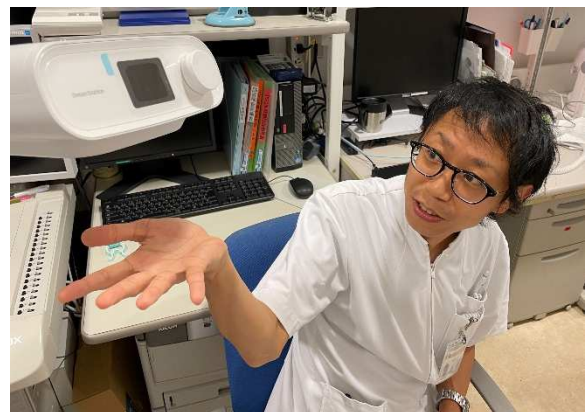
査技師会が主催の睡眠時無呼吸検査(基礎・応用)講座です。講師は関電病院の丸本技師でした。内容は PSG ≠ SAS の検査。睡眠に関連した病気は SAS だけではなく、AHI はあくまで結果の一つということを知ることになった勉強会であったと記憶しています。その後、2013年11月の日本臨床神経生理学会のハンズオンセミナーに参加し、立花先生と連絡先を交換。「分からないことがあったら、メールしてくれていいよ」とおっしゃってください、最初は社交辞令かなと思っていましたが、ちゃんと返信してくれました。それからは、困っていることが発生すると連絡し、その都度丁寧に指導してくださいました。他施設の検査技師の小僧にこんなに親切にしてくれるなんて…という感動を覚えたのと、いろいろな患者について医師とともに検討できることに睡眠医療のやりがいを少しずつ感じる事ができました。

そんなこんなで、大きな病院に行けばもっと立花先生みたいな先生と睡眠医療に携わることができるというアホみたいな考えのもとに某市民病院に転職しましたが、そんな先生はいませんでした。むしろ睡眠検査から遠ざかりました(PSG 装着→臨床工学技士、PSG 解析→外注、CPAP 管理→闇の中)。半分腐った状態で検査技師を続けていたある日、丸本技師が山登りに骨折したことがきっかけで関電病院に潜り込むことができました。関電病院で勤務するまでのことをまとめると、やっぱり医師がいて睡眠技士が意味のあるものになるということ、睡眠医療はその要素が本当に色濃いと感じました。

現在、関電病院で脳波・睡眠・呼吸機能検査を担当し、日中は脳波や呼吸機能検査をしつつ、PSG 解析や CPAP データ提供と患者指導が主な私の仕事です(月1回 PSG アテンド)。なかでも、CPAP 使用中の患者指導にやりがいを感じています。CPAP 患者指導は、基本的には診察時に医師へ CPAP 使用中に発生した困りごとを訴えた患者に対応することですが、急に睡眠データ解析室に入ってきて困りごとを言う患者さんもいます。患者訴えの聴



花粉症がひどくなる季節は CPAP にもマスクをつけなければ効果があると思って CPAP にマスクをつけてみたという人がいました。患者さんがどのように CPAP を使っているかは、千差万別で、現場での直接的な対応や介入が必要だと毎日思い知らされています。



CPAP 使いの魔術師になれるように日々修行していきます。

き方や指導する伝え方に答えはないのかもしれませんが。しかし、答えのない各患者に合わせた対応を学ぶことはお金になりませんが、人として楽しいです。また、訴えの多い患者の特徴もありそうな気がしています。CPAPは処方し

て終わり…ではなさそうです。そう思って仕事ができているのも周りの方々のおかげです。今後も睡眠愛を育てながら、楽しんで勉強を続け、RPSGT取得に向け日々精進していきます。

ISMSJ からのお知らせ 第 12 回 ISMSJ 学術集会で CEC 申請を予定されている皆様へ

これまで日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ) では、学術集會に参加し希望された方に対して、AAST (American Association of Sleep Technologists) の CEC (Continuing Education Credit) を無料で発行してきました。しかし、昨年より AAST の CEC 発行/登録システムに変更があり、新たに個人または主催団体に登録料が課せられるようになったほか、AAST を通じて CEC を取得する場合 (ISMSJ 学術集會はプログラムの一部を AAST に申請し、AAST に認めてもらうことで CEC を ISMSJ が発行するという仕組みになっています)、AAST 非会員は AAST ウェブサイト上でゲスト ID を取得することが、必要となりました (表 1)。

この変更により、

- 1) 従来通り CEC 希望者の負担なしで CEC を発行する場合、ISMSJ での経費負担が大幅増加
- 2) AAST 非会員の方に対して、ゲスト ID 取得方法の案内や登録確認等の ISMSJ の業務が増加が課題として挙げられました。この状況に対して、下記のような複数のプランが考えられましたが、CEC 申請委員会や理事会で討議した結果、今回はプラン E に沿

って CEC 発行を行うことになりました (表 2)。

その理由として、新型コロナウイルス感染症流行の下での学術集會のため例年以上に運営に負担、不安があることが挙げられます。ISMSJ としては、トラブルとなりうる要因を極力少なくすることを第一に、今回の第 12 回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ) 学術集會での CEC 発行に関しましては、対象を『ISMSJ 正会員かつ AAST 会員』の方に限定し、¥1,000 円の申請料を徴収した上で CEC を発行することといたしました (表 2 のプラン E)。

なお CEC 申請は事前登録制とする見込みです。詳しくは第 12 回 ISMSJ 学術集會ホームページ (<http://ismsj2020.umin.jp/>) にて告知いたしますので、随時ご確認をお願いいたします。また、本決定は第 12 回学術集會のみに関する決定事項となります。第 13 回学術集會以降の CEC 発行に関しては、今回の申請および登録の手続きの状況を見て、あらためて検討していきます。

参加者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本臨床睡眠医学会第 12 回学術集會組織委員会 /
CEC 申請委員会

表 1 AAST の変更内容

	変更前	変更後
AAST への登録料	1 開催あたり 125 ドル	1 CEC (プログラム 1 時間) あたり 50 ドル
AAST 会員	無料	5 ドル/人
	AAST 側で CEC 取得数を管理	AAST 側で CEC 取得数を管理
AAST 非会員	無料	10 ドル/人
	自身で CEC 取得数を管理	ゲスト ID をつくることにより AAST 側で CEC 取得数を管理。この費用を個人が負担するか、主催団体 (ISMSJ) が負担するかは、申請した主催団体の判断に委ねられる
ISMSJ 学術集會の負担額	125 ドル	概算で約 500 ドル

表 2 CEC 発行に関して対象者と費用負担を検討したプラン

	概 要	AAST 会員/非会員	ISMSJ 会員/非会員	費用負担
A	CEC 取得希望者全員に無料で CEC 発行 (第 11 回学術集會までの CEC 発行システム)	区別せず	区別せず	全額主催団体 (ISMSJ) が負担
B	CEC 取得希望者から CEC 登録料を ISMSJ が徴収し、CEC 発行	区別せず	区別せず	取得希望者が 5 ドルもしくは 10 ドルを日本円に換算した額を負担し、不足分を主催団体 (ISMSJ) が補う
C	AAST 会員に限定し、CEC 取得希望者に発行 (ISMSJ の会員、非会員は問わない) 取得希望者の登録費用負担に関しては要検討	会員のみ	区別せず	種々のパターンが考えられる
D	ISMSJ 会員に限定し CEC 発行 (AAST の会員、非会員は問わない) 取得希望者の登録費用負担に関しては要検討	区別せず	会員のみ	種々のパターンが考えられる
E	AAST 会員かつ ISMSJ 会員の CEC 取得希望者から CEC 登録料を ISMSJ が徴収し、CEC 発行	会員のみ	会員のみ	取得希望者が 5 ドルもしくは 10 ドルを日本円に換算した額を負担し、不足分を主催団体 (ISMSJ) が補う

第12回 ISMSJ 学術集会

日本臨床睡眠医学会

The 12th Annual Meeting of Integrated Sleep Medicine Society Japan

睡眠医学の多様な魅力

2021年10月22日(金)-23日(土)

組織委員長

谷口 充孝 大阪回生病院 睡眠医療センター

学会HP

<http://ismsj2020.unim.jp>

会場

なんばスカイオコンベンションホール <https://www.nambaskyo-convention.com>

(ハイブリッド形式での開催となります)

10月22日(金)

組織委員長講演 睡眠診療のいま
シンポジウム 多様な視点から”眠気”にアプローチする

特別講演 私たちの睡眠研究

菱川 泰夫



秋田大学医学部名誉教授・元日本睡眠学会理事長

10月23日(土)

教育プログラム
睡眠診療における各科からのワンポイントレクチャー
終夜睡眠ポリグラフ検査中の安全管理を考える

シンポジウム
OSA - beyond adeno-tonsillectomy (AT) and CPAP
やっぱり睡眠は面白い: 不思議と向き合う基礎研究

学術集会参加費

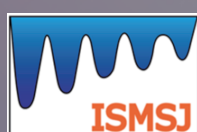
基本的に事前申し込み制となります。後日、ホームページで案内する申し込みページよりお申込み下さい。

	8月23日(月)～ 9月23日(木・祝)まで	9月24日(金)～ 10月8日(金)まで	10月9日(土)～ 当日受付
会員 医師・歯科医師	10,000円	11,000円	12,000円
会員 その他	7,000円	8,000円	9,000円
非会員	12,000円	13,000円	14,000円
学生 (会員・非会員の区別なし)	3,000円	4,000円	5,000円

今回演題発表は、口演となります

昨年演題登録締め切り後に学術集会が延期となったため、昨年演題登録をしてくださった方に発表いただくため、今新たな演題募集は行いません。ご了承ください。

その他、教育プログラム、シンポジウムなどを開催予定としております。プログラムの詳細が決定次第、学術集会HP (<http://ismsj2020.unim.jp>) へ掲載いたします。



■ISMSJ HP: <https://www.ismsj.org>

■会場HP: <https://www.nambaskyo-convention.com>

■第12回ISMSJ学術集会運営事務局: 有限会社 あゆみコーポレーション
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8 TEL: 06-6441-4918